

安全データシート (SDS)

整理番号 1

会社名	ダイヤケミカル株式会社
住 所	栃木県小山市城北2丁目1-3
担当部門	保温材営業部
電話番号	0285-25-2785
FAX番号	0285-25-3502
作 成	(改定) 令和2年11月27日

製品名 ダイヤカバー ・ ダイヤ継手カバー類 ・ ダイヤボード
(ビーズ法ポリスチレンフォーム)

組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

成分に関する記載

成 分	樹 脂	発泡剤	その他	
化学名	ポリスチレン	ブタン	※ 臭素系難燃剤	シクロヘキサン
含有量(wt%)	89~95	4.0~8.0	0.8~2.0	0.3~0.8
化学式	(C ₈ H ₈) _n	C ₄ H ₁₀	非公開	C ₆ H ₁₂
官報公示整理番号 (化審法)	(6)-120	(2)-4	非公開	(3)-2233
労働安全衛生法 通知対象物政令番号	該当しない	482	対象外	232
C A S N o	9003-53-6	106-97-8	非公開	110-82-7

※ 臭素系難燃剤は、労働安全衛生法施行令第18条の2（名称等を通知すべき危険物及び有害物）、特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律施行令第1条（第一種指定化学物質）、第2条（第二種指定化学物質）ならびに毒物及び劇物指定令のいずれにも該当しない。また、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律施行令第1条（第一種特定化学物質）、第1条の2（第二種特定化学物質）にも該当しない。

国連分類 : 該当無し

危険有害性の分類

分類の名称 : 分類基準に該当しない。

主な危険・有害性は次の通りである。

危険性 : 火気に接触すると燃焼する。

発泡剤（ガス）は可燃性ガスである。

成形品中のガスはわずかにゆるやかに揮発する。

有害性 : 発泡剤（ガス）は窒息性、麻酔性がある。
燃焼性 : J I S A 9 5 1 1 に適合

人体に対する影響 特に危険な物質ではない。

応急措置

- 目に入った場合** : 危険な物質ではないが、製品の粉じん等は、眼球を傷つける可能性がある
あるので清浄な流水で充分洗浄する。異常を感じた時は、直ちに専門
医の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合** : 危険な物質ではないが、製品の粉じん等は石けんと水で充分洗い流す。
- 吸入した場合** : 製品の粉じんを吸入すると気管上部に痛みを誘発させる可能性がある
。呼吸困難な場合は専門医の手当を受ける。
- 飲み込んだ場合** : 危険な物質ではないが、製品などを飲み込んだ場合は水でよく口の中
を洗浄し、ただちに専門医の手当を受ける。

火災時の処置

- 消火方法** : 一般火災と同じ消火方法を用いてよく、多量の水または消火剤で消火
する。消火作業の際は、一酸化炭素、黒煙などが発生するので吸い込
まないように注意し、状況に応じて適切な防火服と呼吸保護具を着用
する。
- 消火剤** : 水、粉末消火剤、泡消火剤、強化液消火剤

取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い** : 火気に接触すると燃える性質がある。施工や二次加工する場所は禁煙と
し、溶接、溶断その他の火気の使用は原則として禁止とする。やむを得
ず使用する場合は、防火シートで覆い、消火器等を準備した上で監視者
の立ち会いのもと注意深く作業する。
- : 製品の密度や使用条件によって寸法安定性に違いが生じる場合があり注
意 する。使用温度は、一般的には70℃以下とする。
- : 大部分の有機溶剤に溶解、あるいは侵食される。 接着には一般的に次
のような種類の接着剤が使われる。酢酸ビニール系、ゴム系、エポキシ
系、セメントモルタル系、アスファルト系 ただし、接着剤や塗料の選
択にあたっては、事前に確認のテストを実施して適性を確認する。

: 製品のニクロム線切断加工時にはニクロム線付近をエアパーズする。ニクロム線の赤熱防止を行い、終始監視する。また、付近には消火器を常備しておく。

保 管 : 長期間、紫外線に当てると劣化するので屋内に貯蔵する。

物理的及び化学的性質

	ポリスチレン	ブタン	シクロヘキサン
引火点 (°C)	345~360	-60 (密閉式)	-18 (密閉式)
自然発火温度 (°C)	427	287	260
爆発限界 下限	—	1.8	1.3
(v o l %) 上限	—	8.4	8.4
比重 (g / c m ³)	1.04~1.13	0.6 (液体)	0.8
燃焼性 (個体・ガス)	可燃性	可燃性	該当しない
発火性	常温においては自然発火性なし		
酸素指数%	26以上	—	—
安定性・反応性	取り扱い及び保管において、成形品から発泡剤 (ガス) がわずかに揮発する。 安定であり自己反応性無し。水との反応性無し。		

有害性情報 : 現時点では有害情報無し

環境影響情報 : 海洋生物・鳥類による摂取を防止するため、海上や水域で投棄・放出してはならない。

廃棄上の注意 : 国、都道府県並びに地方の法規、条例に従って廃棄物処理を行う。
廃棄を委託する場合は、産業廃棄物処理業者に内容を明確にして処理を委託する。

輸送上の注意 : 喫煙、溶接火花等の発火源のない風通しのよい場所で荷役作業を行う。
: 貯蔵、積み荷の付近は火気厳禁とする。
: トラックには消火器を備える。輸送時には通気性を考慮の上、シートかけを行う。

: 破損しないように乱暴な取り扱いを行わない。

: コーナー部に当てものをして、ロープなどのくいこみや角欠けを防止する。

適用法規 (燃焼基準) 発泡プラスチック保温材 J I S A 9 5 1 1 (2 0 1 7) 適合

参考資料 : 発泡性ポリスチレン等の取り扱い事業所 (貯蔵・幹送・加工) の防災指針
(第7版) (2012年) 発泡スチロール協会発行

記載内容のお問い合わせ先

会社名 ダイヤケミカル株式会社

住 所 栃木県小山市城北2丁目1番地3

担当部門 保温材営業部 T E L 0285-25-2785 F A X 0285-25-3502

本安全データシートは信頼し得ると考えられる資料に基づき、一般的取り扱いを前提にしたものです。記載内容は情報提供であって保証するものではありません。これを参考にして自らの責任において個々の取り扱い等において適切な措置をお取り下さるようお願いいたします。